



SPRING HILL NEWS LETTER

カレーが
食べたく
なってきた



CoCo 一番屋 創業者 宗次徳二氏の講演会

先日あるご縁から、ココイチ創業者の宗次さんの講演会に出席する機会がありました。書籍やセミナーグッズを販売しているようで、講演が良かったら（消費者なんで強気）買ってみようかな？と思いながら耳を傾けてました。講演の中で書籍の紹介があり「よそ見しないで真面目にやりなさい」とのタイトル紹介がありました。正直、会社の社長であれば「そりゃまじめにやるわさ〜」と思い、「う〜ん、この人すごい人なんか？」と感心してしまいました。講演自体は非常に面白く、これくらいの方になれば、場慣れが半端ないな〜と思いました。だって、「カレー屋だけに【華麗】なる転身をしました。ラーメン屋ならこれ言えないですからね〜。はっはっはっ〜。」と言っていましたから。（結構ウケてました）今は NPO 法人を立ち上げて、コンサートホール（宗次ホール）を運営されています。きっかけは、音楽家・演奏家って、幼少の頃から血の滲むような努力をしている割に、陽の目を見るのはごくごくごく僅かで（プロスポーツ選手より厳しい）、その努力が報われる場を設けたいって言う発想らしいです。（素晴らしい）って、要は、カレー屋さんから NPO のコンサートホール運営に「カレーに転身した」て言いたかたって事です。また、現在はココイチの経営には一切携わってなく、事業継承は日本一上手にできたとの事です。ここに関しても「華麗だ」と言っていました・・・

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

日本人は英語の発音が下手??

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

気になるのは、B・C・L・M・N・R・V・W・Zの発音

英語の発音ですが、日本人は「不得意」な印象がありますが、実際には各国に癖があります。

各国に「発音の癖」はあるんです

例えば、日本人でよく言われるのは「L と R」の発音ですが、韓国では「F」です。F の発音が難しいらしく、慣れてない人は「P」に聞こえます。いわゆる Friend が「P」riend になり、「プレンド」と聞こえます。「If」は「Ip（イブ）」になり、結構可愛かったりします。スペイン系では「S」を「エス」と言ってしまう。（speed= エスピード）中国系も t や d の語尾が消えがちになる等、各国に癖はあります。発音の件はまた次号で・・・



今月の本の紹介：ぷしゅ よなよなエールがお世話になります

●内容：ビール業界が苦戦をする中、毎年ビールの売上を約 130%UP で伸ばしている企業があります。「よなよなエール」で知られるヤッホーブルーイングで、売上を伸ばすために実施しているポイントが書かれている本です。

①自ら商品を好きになる事（商品を愛する事）

ポイントは「儲けるため」ではなく「ファンを増やす」に注力する事です。100 人中 1 人でも大ファン（この商品じゃないとヤダ）になってくれるのであれば参入価値はあると判断しています。そして、その商品を愛してファンを増やすことが重要だと説いています。誰かに期待せず、まずは自分（社長）が変わる事が重要との事です。

②団結力のあるチームを作る（チームビルディング）

商品を愛する事もそうですが、社長含め全員で「行動（愛する）」する事が重要です。また、会社関係だけでなく、ファンも巻き込んで「チーム」と考え行動する事が重要です。商品を売る事だけでなく、イベントを開き「ファンと社員がチームとなって」共に行動する事の重要性を説いています。

「自分たちの商品を広めるためにはどうすればいいのか？」ただ純粹にそれだけを考えて行動し、それに共感した人が集まった結果、「毎年 130%UP」という成果に繋がったと書いています。